

例会報告(平成25年10月24日)

ガバナー公式訪問例会

(中国ダイニング 富士屋)

11:10~12:10 懇談会

ガバナー・ガバナー補佐・会長・幹事・会長エレクト・副幹事

司会 前川成吉 SAA委員長

点鐘 古西弘和会長

「君が代」ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱

四つのテスト唱和 倉石昌治会員

ガバナー紹介

認証式 青柳誠会員 (米山功労者)

椎名鎌一郎会員 (マルチプルPHF)

富一美会員 (マルチプルPHF)

会長挨拶・会務報告 古西弘和会長

幹事報告 秋葉講一幹事

各委員会報告

ガバナー補佐挨拶 ガバナー補佐 土屋利夫様

基調講演(卓話) ガバナー 関口徳雄様

ニコニコボックス

出席報告

点鐘 古西弘和会長

クラブ協議会

クラブ協議会終了後、(記念撮影)

懇親会 あづま庵

乾杯 第33代会長 野島暉通会員



椎名会員 / 関口ガバナー / 青柳会員 / 富会員

会長挨拶



皆さん、こんにちは。本日は今年度の一大イベントでありますガバナー公式訪問です。

国際ロータリー第2790地区ガバナー関口徳雄様、第6分区ガバナー補佐土屋利夫様、ようこそお越しくださいましてありがとうございます。

午前中には、ガバナー、ガバナー補佐、わたくし、秋葉幹事、行木会長エレクト、小川副幹事の6名で懇談会を行いました。

関口ガバナーの第一声は、先々週のガバナー補佐訪問時に質問しました地区大会記念ゴルフ大会のお詫びが第一声でありました。そのあと関口ガバナーより、当クラブの良い点、改善した方が良い点をご指導いただきました。今後のクラブ活動の参考にさせていただきたいと思います。

2013~14年度、ロン・D・バートンRI会長のテーマ「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を」です。私はこのテーマを聞いて非常に感銘いたしました。私たちロータリアンは会員の誰からかに推薦され入会し、ロータリアンになったわけですがここにいる皆さんはロータリーの奉仕をしようと集まった人たちだと思っております。

職業奉仕の標語「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」に繋がるように思います。

ですから、RI会長がおっしゃるようにロータリア

ンは豊かな人生にならなくてははいけないと思います。

本日お越しいただいております、関口ガバナーのテーマ「元気なクラブを目指して」であります。関口ガバナーは奉仕と親睦はロータリーの2本柱であり、車の両輪であるとおっしゃっております。当クラブにおいても、親睦活動を行う中で会員同士のコミュニケーションがとれ奉仕活動に積極的に参加してくれていると思います。これが退会防止にもつながっていると思っております。また、関口ガバナーは会員増強として今年度中に一瞬でもいいから3000人を超えたいとおっしゃっております、しかし、これに関しては少し厳しんじゃないかと思えます。当クラブも今のところ純増一名ですが、来月に一名の入会希望者がおるようでございます。何とか今年度中に純増3名を目指し頑張りたいと思えます。

社会奉仕活動については、今年度の活動計画にもあります地元小学校へのテントの寄付を来週に小学校に出向き贈呈式を行う予定になっております。その際に町の広報誌に掲載していただくようお願いしてあります。

本日はこの例会終了後にクラブ協議会を行います。ガバナーと会員皆さんの活発な意見交換を期待しております。以上でわたくしの挨拶とさせていただきます。

■ 幹事報告



①例会変更のお知らせ

・多古RC

11/10(日) 地区大会(移動例会)

※17:00～懇親会 成田エクセルホテル東急

11/12(火) 休会(11/10地区大会に振替)

11/26(火) 休会(定款第6条1節)

・小見川RC

11/13(水) 休会(11/10地区大会に振替)

②会報受領クラブ

・小見川RC ・成田コスモリタンRC

③米山記念奨学会より、ハイイトよねやま163(2013年10月11日発行)が届いております。

⑤お知らせ

本日の写真撮影をクラブ協議会後に変更いたします。

■ ガバナー補佐挨拶



第2790地区第6分区

ガバナー補佐 土屋 利夫様(大原RC)

皆さんこんにちは。本日は関口ガバナーの公式訪問にあたり、会員多数のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

公式訪問の準備に当たりました方々には大変ご苦勞をお掛け致しました。

さて、本日の公式訪問は第6分区として7クラブ目であり、私にとっては常にデビュー戦です。また、ガバナー補佐訪問では、古西会長様をはじめ会員皆様には温かくお迎えをいただきました上、本日の公式訪問資料を作成するに当たり、クラブ協議会の開催並びにクラブ目標達成の為の情報提供にご協力を賜りました事に、心より感謝申し上げます。

会議は会長幹事・エレクト懇談会よりスタートさせていただきましたが、成田空港南RCのロータリー活動への熱心で真剣に取り組む姿勢を感じます。ガバナーより少々厳しい質問もあったかに思われますが、更なる充実したクラブ運営に期待するガバナーの思いからだと考えます。関口ガバナー年度の目標は皆さんご承知の通りです。

関口ガバナーは、人とその交流の場の大切さを常に思っている方ですので、地区内ガバナー補佐の皆さんからも大変な信頼を受けておられますし、会議もそのような雰囲気の中で進められており、関口ガバナー年度を皆さんのお力添えをいただき、大いに盛り上げていきたいと思えます。そして、一年を振り返ったとき、素晴らしい年度であったと思える、そんな年になるよう皆様のご協力をお願い致します。最後に成田空港南ロータリークラブ様のますますのご発展と会員事業所のご隆盛、皆様のご健勝をご祈念申し上げまして挨拶といたします。

卓話



13-14年度第2790地区
ガバナー 関口 徳雄様 (浦安RC)

皆様、今日は。国際ロータリー第2790地区ガバナーの関口徳雄です。所属は浦安ロータリークラブです。

皆様、既に御案内のとおり、本年度RI会長ロン・D・バートン会長が提唱したテーマは「Engage Rotary, Change Lives」日本訳として「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」というものです。

更に、この意味を以下のように申しております。ロータリーの奉仕では、努力すればするほど多くを得ることができ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々活かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるか分かるはずです。

そうすることによって、初めて人々の人生を真に豊かにしようというやる気・パワーが湧いてくるのです。そして何よりもあなた、つまりロータリアン自身の人生が豊かになるはずです。

このフレーズは、アーサーシェルドンの説いた「He (One) profits most who serves Best」つまり、奉仕の理念の第二標語に通ずるものとして、私は勝手に解釈しまして地区チームセミナーで申し上げたのですが、後に6月の広島平和フォーラムの席上で私の同期のガバナーエレクトがロンバートン氏に質問したそうです。その時、同氏は、この「Engage Rotary, Change Lives」と第2標語は同じ意味だと答えたそうです。

私の本年ガバナーとしての地区運営の方針等につきましては、三大セミナーで申し上げ、又、活動計画書にも記載してあります。

<元気なクラブを目指して> (例会は、楽しく且つ緊張あるものに・・・！)

奉仕と親睦 (友愛) は、ロータリーの2本柱であり、車の両輪であることは過去幾多の先輩ロータリアンが繰り返し述べているところです。そして、奉

仕と親睦の両輪が競うように力強く回っている状態をロータリーでは「元気なクラブ」と言います。

「親睦」と「親睦活動」を混同する方も多いようですが、両者は違います。

親睦とは、申すまでもなく「奉仕の心」を作り出すための例会における諸活動であります。ロータリアン個人の心と心が結合した過程であって、互いに切磋琢磨しながら自らの人格を磨きあう状態を表す概念であります。従って、例会の位置づけが最も大切になります。

そのためには、会員卓話にもひと工夫が必要でしょう。マンネリ化した事務的な卓話ではなく、時にはユーモア、ウィット、そしてジョークに富んだ話の中で、奉仕の理念の真髄に迫る研ぎ澄まされた卓話が求められます。

そして、私が各クラブに求める例会の在り方は「例会は楽しく且つ緊張あるものに・・・！」です。

更に今年度は今一步進め、「会員に奉仕の心を増強させる一つの機会として」ゴルフ・野球・テニス・その他ロータリアンの趣味の世界、即ち、親睦活動を推奨したいと思えます。これら趣味の中で、会員同士の深い絆を築いて欲しいと思えます。それは結果的に退会防止に繋がるからです。そして、私は、次のように申し上げたい。「ロータリーに潤いを、そして活力を・・・！」と。

<ロータリーを知らずに退会していく3年未満の新会員の問題>

2年か3年かはともかく、各地区で新会員がロータリーの何たるかを知ることなく辞めてゆく問題がクローズアップされております。そして、当地区においても然りです。

それを防止する手段の一つとして、会員研修が必要であると思えます。

本年度は、早急にガバナー補佐の協力のもと、地区研修リーダー主催による情報研究会を実施しますが、目的は各クラブのベテランロータリアンによる新入会員へのオリエンテーションの実施を目指します。必ず実施して下さい。

前述の親睦活動による会員同士の絆に加え、退会防止へと繋げたいと思えます。

<職業奉仕と他の奉仕活動の関係>

私の極めて個人的な考えですが、職業奉仕委員会は、奉仕活動というより職業を通じた自己研鑽委員会とでもいうべきものではないかと思えます。

純粋にロータリアン個人にとっての職業奉仕をかん

がえた場合、これは極めて道徳的哲学的なものであり、自己研鑽に励むことが中心であって、特定のプロジェクトのように外部からハッキリと見えるものではありません。

しかし、この職業奉仕は、「ロータリアンの基本」あるいは「ロータリーの心」と言われているものですから、絶対に失念することはできないのであります。

要するに、職業奉仕については、ロータリアン一人一人が大事にし、これを奉仕活動の要ないし基礎として捉え、常に振り返る必要があるのです。

つまり、職業奉仕は、これを除く四大奉仕の精神的支柱（バックボーン）であって、キリスト教の聖書、仏教の経典の如きものではないかと思えます。

（多分、異論があるかと思いますが…。）

<ロータリアン全てが職業奉仕を理解しなければならない理由>

職業奉仕について意味内容定義はともかくとして、「なぜ我々は職業奉仕を理解しなければならないのか？」ですが、ロータリーが他の奉仕団体と異なるのは、この職業奉仕という独特の奉仕活動を持っていることです。

この点については、全てのロータリアンが認めることだと思います。

そうしますと、当然のことながら、ロータリアン一人一人が「職業奉仕とは何なのか」「職業奉仕が如何なるものか」ということについて十分に理解しておく必要があります、ロータリーの内外からいつでも誰に対しても（自らの見解とし）職業奉仕を説明できなければならないのです。

ひるがえって、新入会員に対しても、ベテランロータリアンがしっかりとオリエンテーションを実施して、この点を認識させ、職業奉仕を理解させなければならないのです。

ついでながら、職業奉仕を更に深く理解するためには、その「対となる」ところの社会奉仕を正しく理解しないと、結局のところ、職業奉仕と社会奉仕の区別がつかなくなってしまうのです。

そこで、職業奉仕と社会奉仕を厳密に分ける必要が生じてくるのです。そして、当然のことながら「I serve」か「We serve」かの区別にも関連します。

<私が考える職業奉仕とは>

極めて抽象的な表現ですが、「自分の仕事の中で、奉仕の理念を追求すること」に尽きると思います。あくまで個人がなすことです。具体的に申しますと、

- ①ロータリアンとしては、先ず第一に自分の仕事を真面目にコツコツと一生懸命行うことです。そのためには自分の仕事に誇りと責任を持ち、又、常に職業倫理的道徳的水準の向上を図らなければなりません。
- ②第二に、他の人の仕事の価値観も同時に認めることです。
- ③第三に、自分の仕事の腕を社会に役立てることで。

そして、その際の手法は、奉仕の理想（理念）を目標に、

2つの標語

超我の奉仕 — 弱者を助ける人道的な奉仕活動

He profits most who serves best

— 事業の継続的な繁栄を願う

職業奉仕理念

を胸に秘め、4つのテストを秤（計り）として、8つの行動規範に基づいて行うことであります。

では、クラブを何をすべきかと言うと、クラブは、この模範となるような実例を示したり、クラブ会員が自己の職業上の腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって自己の目標を実践できるように推奨することです。

■ クラブ協議会



■ 懇親会 (あづま庵)



ニコニコボックス

渡辺晃君

…ようこそ成田空港南ロータリークラブへ
関口ガバナー公式訪問ありがとうございます
懇親会欠席します

青柳誠君・越川博光君・椎名鎌一郎君

齋藤逸朗君・土屋俊夫君・富一美君

内田裕雄君・小林定雄君・石田喜一君

古西弘和君・行木英夫君・伊藤元雄君

河野和夫君・秋葉講一君・高田一行君

小川佐内君・渡辺孝文君・倉石昌治君

安藤卓造君・小野田行伸君・花澤昇一君

…ようこそ成田空港南ロータリークラブへ
関口ガバナー公式訪問ありがとうございます

前川成吉君

…ようこそ成田空港南ロータリークラブへ
関口ガバナー公式訪問ありがとうございます
奥様誕生祝いありがとうございます

ガバナー関口徳雄様より

ガバナー補佐土屋利夫様より

本日計 32,000円

累計 384,305円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に 用いる数	%
10月24日	37	29	34	85.29

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

